

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

透明度は2.1~3.3mでした。検鏡の結果、魚類に対して非常に有害なシャットネラ属が最高で775cells/ml、カレニア・ミキモトイが最高で5,200cells/ml確認され、どちらも漁業被害が想定される濃度を越えていました。餌止めを行うなど慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲む等して、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

透明度(m)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	宇佐 養殖漁場
透明度	2.3	3.0	2.1	2.1	3.2	3.3
前回透明度	2.4	1.1	2.4	2.7	2.4	

プランクトン (cells/ml)

		シャットネラ属	カレニア・ミキモトイ	珪藻類
中学校前	0m	0	4	11,200
	2m	1	57	7,300
	5m	69	37	200
目ノクソ	0m	0	21	6,600
	2m	12	350	3,000
	5m	660	110	800
光松	0m	1	55	5,800
	2m	750	5,200	1,100
	5m	530	100	800
大鹿	0m	3	16	5,100
	2m	775	2,100	800
	5m	590	80	300
水試小割前	0m	1	1	3,200
	2m	42	35	1,800
	5m	390	400	750
宇佐養殖漁場 沖側	0m	11	39	2,400
	2m	10	48	400
	5m	8	71	1,600
目ノクソ- 光松 中間	0m	12	875	
大鹿 (別)	0m	20	160	
大崎	0m	30	570	



漁業被害が想定される細胞密度
 ・シャットネラ属: 10~100cells/ml(へい死)
 ・カレニア・ミキモトイ:
 数百~数千cells/ml(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>